

別表1. 外国語学科韓国語科

必修・選択の別	授業科目	年間授業時数		授業時数 合計	単位数		
		第1学年	第2学年		第1学年	第2学年	合計
必修	ホスピタリティ入学研修	12	0	12	-	-	-
必修	入学オリエンテーション	12	0	12	-	-	-
必修	就職セミナー	8	0	8	-	-	-
必修	ショートホームルーム	60	60	120	-	-	-
必修	始業HR	0	4	4	-	-	-
必修	卒業式前HR	0	4	4	-	-	-
	小計	92	68	160	-	-	-
必修	業界英会話	60		60	4		4
必修	ホスピタリティ・SDGs研究	30		30	2		2
必修	キャリアガイダンス	60	30	90	4	2	6
必修	ビジネスプレゼンテーション	60		60	4		4
必修	ゼミナール		30	30		2	2
必修	実践PCスキル	60		60	4		4
必修	韓国語能力検定対策	60	30	90	4	2	6
必修	韓国語入門Ⅰ	30		30	2		2
必修	韓国語入門Ⅱ	30		30	2		2
必修	韓国語入門Ⅲ	30		30	2		2
必修	韓国語コミュニケーション	60		60	4		4
必修	文章表現	60		60	4		4
必修	日本文化研究	30		30	2		2
必修	K-Culture	30		30	2		2
必修	インバウンド実務主任者認定試験対策	30		30	2		2
必修	韓国語基礎Ⅰ	30		30	2		2
必修	韓国語基礎Ⅱ	30		30	2		2
必修	韓国語基礎Ⅲ	30		30	2		2
必修	マナープロトコル検定対策	30		30	2		2
必修	サービス演習	30	60	90	2	4	6
必修	日韓文化研究	30		30	2		2
必修	スピーチトレーニング	30	30	60	2	2	4
必修	イベントプランニング		60	60		4	4
必修	ビジネス韓国語		60	60		4	4
必修	韓国語応用Ⅰ		30	30		2	2
必修	韓国語応用Ⅱ		30	30		2	2
必修	韓国語応用Ⅲ		30	30		2	2
必修	韓国語(翻訳)		60	60		4	4
必修	韓国語(通訳)		60	60		4	4
必修	接客英会話		60	60		4	4
必修	韓国伝統芸術		60	60		4	4
必修	セールスプロモーション		60	60		4	4
必修	韓国語ディスカッション		30	30		2	2
必修	チームビルディング		30	30		2	2
必修	ビジネススキル		30	30		2	2
必修	Social Media Planning		30	30		2	2
必修	卒業制作		30	30		2	2
専門科目(必修)授業時数&総単位数		840	840	1680	56	56	112
総授業時数&総単位数		932	908	1840	56	56	112

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			K-Culture			講師名			
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>韓流ドラマ、韓流映画、K-POPダンスなどのポップカルチャーに着目し、韓流文化についての知識と理解を深める。また韓流文化の歴史や成り立ちなどを理解することで教養を身につける。</p>					<p>韓国と日本文化の相違点や類似点を考えながら、韓国文化を学ぶ。 講義だけではなく、実際に韓国文化を体感するなど、多角的に教養を取得する。</p>				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	シラバス説明、オリエンテーション				授業の趣旨を理解する クラスでのコミュニケーションを図る			講義	
2	韓流文化とは？		課題	10	様々な「韓流文化」について理解する			講義	
3	世界の「韓流ブーム」について		課題	10	世界各国における「韓流ブーム」の現状を理解し、ブームの要因を研究する			講義	
4	韓流ドラマ①		課題	5	ドラマの題材となった場所、歴史的な出来事などを通じて社会情勢を理解する			講義	
5	韓流ドラマ②		課題	5	ドラマの題材となった場所、歴史的な出来事などを通じて社会情勢を理解する			講義	
6	韓国の食文化①		課題	5	韓国の食文化における歴史を理解する また、日本の食文化との関係性を学ぶ			講義	
7	韓国の食文化②		課題	5	日本における韓国食文化、韓国における日本食文化、相互の影響力を理解する			講義	
8	韓国の服飾文化		課題	5	歴史ある民族衣装から、日本でも人気がある若者の韓国ファッションを学ぶ			講義	
9	K-POP		課題	5	グループワークにて、これからの韓国ファッショントレンドについて調べ、次週の発表に備える			講義	
10	グループディスカッション		実技	10	授業で学んだ文化の中からテーマを決め、今後の韓流文化についてグループディスカッションを行う			実技	
11	グループ制作		課題		前週にディスカッションした内容をまとめ、翌週の発表に向けて準備をする			講義	
12	グループ制作		課題		前週にディスカッションした内容をまとめ、翌週の発表に向けて準備をする			講義	
13	グループ制作（リハーサル）		課題	10	翌週の発表に向けてリハーサルを行い、フィードバックを基にブラッシュアップする			講義	
14	グループ発表		実技	20	グループ発表			実技	
15	振り返り		課題	10	振り返り			講義	
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			インバウンド実務主任者認定試験対策			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
訪日外国人旅行者に対する対応方法と、この外国人をビジネスチャンスとして取組める対応力を養う。合わせて「インバウンド実務主任者試験」も受験出来るノウハウも学んで行く。					授業形態：講義			
					インバウンドに対する「おもてなし」の意識を持った対応を考察する。現段階で日本の外国人受け入れ体制と、諸外国でのインバウンド受け入れ体制を比較し、現場感覚を大事に講義する。そして理想のインバウンドビジネス業界で活躍出来るリーダーを目指し、現場視察、講義も取り入れて行く。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	インバウンドとは？				各国の歴史講座。インバウンドに関する現状理解を確認。	講義		
2	インバウンドの意味と訪日IB現状 新型コロナウイルスの対応比較				インバウンドの定義。訪日旅行者人数推移、増加背景、今後の目標	講義		
3	訪日IBの業務形態				IB業務形態とビジネス戦略を理解する	講義		
4	訪日IBに関わる団体・組織				IB業界を取り巻く団体・組織を理解する	講義		
5	訪日IB現状と動向① 課題発表について説明		筆記	10	国・地域別旅行者数 課題は地元IB発表、準備の仕方	講義		
6	訪日IB現状と動向② 訪日IB現状と動向③				各自訪日IBに人気の観光地 (②都道府県、③ディステーション)	講義		
7	現地IB「諸外国での気づき」を発表 地元等のIB現状を理解する				授業で気づいたホスピタリティを通して外国から見た日本を考える	講義		
8	IBについて発表		発表	20	各自収集した情報を発表	実技		
9	グループワーク①				訪日外国人旅行者×地域創生を考える	講義		
10	グループワーク②				訪日外国人旅行者×地域創生を考える	講義		
11	グループワーク③		課題	10	訪日外国人旅行者×地域創生を考える	講義		
12	発表		実技	20	成果発表	実技		
13	期末テスト対策 まとめ復習				これまでの復習と 期末テストの傾向対策	講義		
14	期末テスト		筆記	40	授業内テスト実施	講義		
15	まとめ				前期のまとめ	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			キャリアガイダンス			講師名		
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. ビジスマナー・就活の基本を学ぶ 2. ビジネス能力検定ジョブパス 3級合格を目指す(申込不要) 3. ホスピタリティを土台とし、マナーをわきまえた 社会人の言動をとれるようになる 【2級受験希望者は学生カウンターへ要申請】					就職活動でも必要となる、ビジスマナーとコミュニ ケーション、仕事の進め方やビジネス文書、電話対応な どを学びながら、同時に検定合格を目指す。 授業では、テキストと問題集を併用し、知識の習得や過 去、模擬問題に取り組み、家庭学習も必要となる。			
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式		
			形式	点数				
1	第1編、1、2章 キャリア、働く意識、8つの意識				<input type="checkbox"/> キャリアを知り、働く意義を考える <input type="checkbox"/> 仕事の基本となる8つの意識を身につける	講義		
2	第1編、3、4章 コミュニケーション、ほうれんそう		筆記	5	<input type="checkbox"/> コミュニケーションとビジスマナーの基本 について理解する <input type="checkbox"/> 「ほうれんそう」の重要性を再認識する	講義		
3	第1編 5章 話し方、聞き方 敬語		筆記	5	<input type="checkbox"/> 敬語、話し方と聞き方のポイントを理解し、 「学生ことば」を卒業する	講義		
4	第1編 6,7章 来客対応、訪問、対外交際		筆記	5	<input type="checkbox"/> 来客対応と訪問の基本マナーを身につける <input type="checkbox"/> 会社関係でのつき合いを知る	講義		
5	中間テスト 第2編 1章 仕事への取り組み方		筆記	15	<input type="checkbox"/> 仕事への取り組み方について理解する	講義		
6	第2編 2章 ビジネス文書・メール 配布資料 添え状とは		筆記	5	<input type="checkbox"/> ビジネス文書の基本を身につける <input type="checkbox"/> 添え状が書けるようになる	講義		
7	第2編 3章 電話対応 配布資料 就活に於ける電話対応		筆記	5	<input type="checkbox"/> 基本的な電話対応ができるようになる <input type="checkbox"/> ケーススタディで電話対応を身につける	講義		
8	第2編 4、5章 データの読み方、情報収集		筆記	5	<input type="checkbox"/> メディアを活用した情報収集ができる	講義		
9	第2編 6章 経済史、社会の環境		筆記	5	<input type="checkbox"/> 取り巻く環境と経済の基本について理解する	講義		
10	期末テスト・検定直前対策		筆記	15	<input type="checkbox"/> ジョブパスの特徴を捉え、出題形式に慣れる	講義		
11	業界が求める人物像 自己理解「ジョハリの窓」		課題	5	<input type="checkbox"/> 業界が求める人物像を具体化する <input type="checkbox"/> 「ジョハリの窓」から自己理解の気づきを得る	講義		
12	未来計画書作成				<input type="checkbox"/> 成し遂げたい項目3点を掲げる <input type="checkbox"/> 達成のためのアクションプランを完成させる	講義		
13	実力テスト①		筆記	15	<input type="checkbox"/> ジョブパス過去問を解き理解する	講義		
14	実力テスト②		筆記	15	<input type="checkbox"/> ジョブパス過去問を解き理解する	講義		
15	まとめ				<input type="checkbox"/> 前期を振り返り理解する	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		ビジネスプレゼンテーション				講師名		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>社会人として働く時、自分の考えを決裁者に対して理解しやすく納得できるように提案するための段取りや組み立て方を理解し、言語情報・音声情報・視覚情報として伝えることや簡潔明瞭に伝えるスキルを養う。学生自身が好きなこと・得意なことを見つけて、全員がリーダーとなり夢や目標を達成させ、成功体験を語ることができるようになる。</p>					<p>講義をした後、ワークショップ（参加者個々が考え、お互い協力し合い、与えられたテーマを元に行う体験型授業）や実技（発表）を繰り返すことで、基礎のプレゼンテーション知識の体得を目指す。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	オリエンテーション				一年間の流れ、BTSの説明、ワークショップを実施しクラスの雰囲気をも高める		講義	
2	自己紹介		実技	20	自己紹介をしながらワークショップを行いコミュニケーションの取りやすい環境を作る		実技	
3	チームビルディング（アイスブレイク）				コミュニケーションゲームなどを通じてチーム力を高める方法を理解する		講義	
4	チームビルディング（組織強化的、コンセンサス合意）				議論のまとめ方を学び、組織強化、コンセンサス合意を目的としたチームビルディングを行う		講義	
5	プレゼンテーションの基本構造、企画の基本構造		課題	10	プレゼンの基本であるPREP構造、企画の基本構造をヒット商品に学ぶ		講義	
6	アイデアの発想法				アイデアを発想する方法（フレーム）をいくつか紹介し、発想のトレーニングを行う		講義	
7	プレゼンテーションテクニック①（課題の見つけ方）				テーマを示し、情報収集→課題発見→課題解決のワークショップを行う		講義	
8	プレゼンテーションテクニック②（アイデア→企画書）		課題	10	課題解決のためのフレームワークを使って企画書の作成を行う		講義	
9	プレゼンテーションテクニック③（発表、フィードバック）		実技	20	発表とフィードバック		実技	
10	BTS概要説明				BTS全体テーマ発表→「業界を“オシャレ”に」（業界の課題解決の提案）		講義	
11	マーケティング基礎				情報収集の仕方、環境分析、ターゲットティング、AIDMAを実例を交えてマーケティングの基礎を学ぶ		講義	
12	BTS企画構想（個人）		実技	20	BTSの提案を個人で考え提案内容を作成する		実技	
13	BTS企画ワークショップ				個人提案内容について共有し、カテゴリー別にチーム編成する		講義	
14	BTS企画構想（チーム）		課題	10	BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		講義	
15	総復習 フィードバック				総復習		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ホスピタリティ・SDGs研究			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
相手の立場に立って考え行動するホスピタリティマインドを理解し、行動に移せるようになることを目標とする。個人間のホスピタリティを理解したあとで、企業が行うホスピタリティの行動としてSDGsの事例を学び、地球規模でホスピタリティの具現化について考察を深める。					「ホスピタリティマインド」「SDGs」という2つのテーマについて、講師がファシリテーターとなり、学生自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開する。				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
			形式	点数					
1	オリエンテーション ホスピタリティマインドとは何かを考える				<input type="checkbox"/> 響存関係づくりからホスピタリティを理解した	講義			
2	「これってホスピタリティ？」 事例から考えるホスピタリティ				<input type="checkbox"/> 事例から様々な考え方や行動があることに気付いた	講義			
3	私のホスピタリティ体験				<input type="checkbox"/> 実体験から、自分のホスピタリティや他者から受けたホスピタリティに気付いた	講義			
4	ホスピタリティに必要な力 ①感知力・想像力、SDGsの基礎を学ぶ		課題	30	<input type="checkbox"/> 業界事例から感知力・想像力を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義			
5	ホスピタリティに必要な力 ②マインド、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例から感知力・想像力を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義			
6	1週間のホスピタリティ共有		課題	20	<input type="checkbox"/> 各自の発表から気づきを得た <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義			
7	ホスピタリティに必要な力 ③マナー、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からマナーの必要性を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義			
8	ホスピタリティに必要な力 ③マナー、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からマナーの必要性を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義			
9	ホスピタリティに必要な力 ④コミュニケーション、SDGsの基礎を学ぶ		課題	20	<input type="checkbox"/> 業界事例からコミュニケーションカを理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義			
10	ホスピタリティに必要な力 ④コミュニケーション、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からコミュニケーションカを理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義			
11	「私のホスピタリティ」(クレド)作成				<input type="checkbox"/> 自身の今後の行動目標を作成し、ホスピタリティ意識を高めた	講義			
12	「自身の考えるホスピタリティについて」		課題	15	<input type="checkbox"/> これまでの学びや気づきをもとにホスピタリティについて考えることが出来た	講義			
13	SDGsワーク①				<input type="checkbox"/> SDGsの取り組みを話し合うことができた	講義			
14	SDGsワーク②		課題	15	<input type="checkbox"/> SDGsの取り組みを話し合うことができた	講義			
15	総復習 フィードバック				<input type="checkbox"/> ホスピタリティについて考える機会が増えた	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		韓国語コミュニケーション				講師名		
担当講師の実務経歴				実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業内はすべて韓国語で会話ができるようになる ・相手に合わせた話し方、場面ごとにふさわしい表現ができるようになる 					オール韓国語で実践的なロールプレイングや、グループワークを通じて、韓国語の会話力を養成			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション				授業の内容を理解する		講義	
2	自己紹介・グループワーク				韓国語で自己紹介ができるようになる		講義	
3	連結語尾「고」・グループワーク				共通点探しゲームを通し、他者とのコミュニケーションを図る。連結語尾「고」を学ぶ		講義	
4	コミュニケーションゲーム①		課題	20	韓国語を使ってチーム内でコミュニケーションを図る		講義	
5	日常生活①・グループワーク				韓国語で日常生活について会話ができるようになる		講義	
6	日常生活②・グループワーク				韓国語で日常生活について会話ができるようになる		講義	
7	日常生活③・グループワーク				韓国語で日常生活について会話ができるようになる		講義	
8	日常生活④・グループワーク				韓国語で日常生活について会話ができるようになる		講義	
9	日常生活⑤・グループワーク		課題	20	韓国語で日常生活について会話ができるようになる		講義	
10	1日、1週間のスケジュール・グループワーク		課題	20	韓国語でスケジュールを立てる		講義	
11	コミュニケーションゲーム②		課題	20	韓国語を使ってチーム内でコミュニケーションを図る		講義	
12	料理の注文・グループワーク				韓国語で料理の注文ができるようになる		講義	
13	買い物・グループワーク				韓国語で買い物ができるようになる		講義	
14	旅行・グループワーク		課題	20	韓国語で旅行について話ができるようになる		講義	
15	まとめ				振り返り		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語入門 I			講師名		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ハングルの仕組みと発音、表現などを理解し、読解、聴解などの基礎作りを行い、日常的な表現と基本的な言い回しを理解する					現地の大学で使用されているテキストをもとに「読む」・「話す」・「聞く」・「書く」の4つの技能を総合的に習得する ペアワークを生かした、コミュニケーション能力の育成			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容を理解する		講義	
2	文字と発音 合成母音		筆記	10	合成母音について学び、正確な発音を身につける。		講義	
3	固有名詞をハングルで表記 基本的な挨拶、自己紹介		課題	20	名前、身近なものをハングルで表記する練習、基本的な挨拶について学び、韓国語で自己紹介ができるようになる。		講義	
4	1A 환영합니다! (ようこそ!)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
5	1A 날씨가 어떨습니까? (天気はどうですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
6	1B 지금 몇 시예요? (いま何時ですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
7	1B 서울역으로 가 주세요 (ソウル駅に行ってください)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
8	1B 우리 집에 올 수 있어요? (私たちの家に来ることができますか?)		筆記	20	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
9	2A 처음뵙겠습니다 (初めてお会いします)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
10	2A 옷이 좀 큰 것 같아요 (服が少し大きいと思います)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
11	2A 한옥마을이 어디에 있는 지 아세요? (韓屋村のどこにいますか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
12	2A 뭐 먹을래? (何を食べますか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
13	2B 주변이 조용해서 살기 좋아요		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
14	2B 설날에는 밥 대신 떡국을 먹어요		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
15	まとめ						講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ソウル大 テキスト 1A、1B、2A、2B プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語入門Ⅱ			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ハングルの仕組みと発音、表現などを理解し、読解、聴解などの基礎作りを行い、日常的な表現と基本的な言い回しを理解する					現地の大学で使用されているテキストをもとに「読む」・「話す」・「聞く」・「書く」の4つの技能を総合的に習得する。 ペアワークを生かした、コミュニケーション能力の育成			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容を理解する	講義		
2	文字と発音 基本母音		筆記	5	ハングルの基本母音について学び、正確な発音が身につくまで練習する。	講義		
3	文字と発音 終声、パッチム		筆記	10	終声、パッチムについて学び、正確な発音を身につける。	講義		
4	1A 이거는 뭐예요? (これは何ですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
5	1A 주말에 친구를 만났어요 (週末に友達に会いました)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
6	1A 영화볼까요? (映画を見ますか?)		筆記	20	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
7	1B 감기게 걸렸어요 (寒くなりました)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
8	1B 이 옷을 입어 보세요 (この服を着てみてください)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
9	2A 취미가 뭐예요? (趣味は何ですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
10	2A 어디에 가면 좋을까요? (どこに行けばいいですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
11	2A 정말 속상하겠어요 (本当にひどい気分です)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
12	2B 운동을 좀 해 보는 게 어때요? (運動をしてみてもいいか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
13	2B 여기서 사진을 찍어도 돼요? (ここで写真を撮ってもいいですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
14	2B 비행기를 놓칠 뻔했어요 (飛行機に乗り遅れました)		筆記	20	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義		
15	まとめ					講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ソウル大 テキスト 1A、1B、2A、2B プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語入門Ⅲ			講師名		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ハングルの仕組みと発音、表現などを理解し、読解、聴解などの基礎作りを行い、日常的な表現と基本的な言い回しを理解する					現地の大学で使用されているテキストをもとに「読む」・「話す」・「聞く」・「書く」の4つの技能を総合的に習得する ペアワークを生かした、コミュニケーション能力の育成			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容を理解する		講義	
2	文字と発音 子音		筆記	10	子音の平音、激音、濃音について学び、正確な発音を身につける。		講義	
3	文字と発音 連音化、鼻音化、よく使う単語		筆記	20	連音化、鼻音化について学習し、正確な発音を身につける。身近な単語を学ぶ。		講義	
4	1A 한국어를 공부해요 (韓国語を勉強します)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
5	1A 얼마예요? (いくらですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
6	1B 이분은 누구세요? (この人は誰ですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
7	1B 여보세요 (こんにちは)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
8	1B 여행을 가고 싶어요! (旅行に行きたいです!)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
9	2A 콘서트에 가봤어요? (コンサートに行ったことがありますか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
10	2A 비행기로 보내면 얼마예요? (飛行機で送ればいくらですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
11	2A 문의할게 있는데요 (お問い合わせがあります)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
12	2B 저는 좀 조용한 편이에요 (少し静かです)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
13	2B 한국 생활에 익숙해졌어요 (韓国の生活に慣れました)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
14	2B 한국에 온 지 벌써 6개월이 되었어요 (韓国に来てから6か月になりました)		筆記	20	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
15	まとめ						講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ソウル大 テキスト 1A、1B、2A、2B プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語能力検定対策			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
10月に実施される韓国語能力試験Ⅰ（初級）を高得点で合格することを目標とする					<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語能力試験初級の問題を解くために必要な単語（1500以上）、品詞の習得 ・韓国の日常生活で最低限必要な言語運用能力の習得 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション・TOPIK概要				授業の内容を理解する	講義		
2	TOPIKⅠ単語・名詞①				TOPIKⅠによく出題される単語や名詞を学ぶ	講義		
3	TOPIKⅠ単語・名詞②		筆記	10	TOPIKⅠによく出題される単語や名詞を学ぶ	講義		
4	TOPIKⅠ単語・動詞①		筆記		TOPIKⅠによく出題される単語や動詞を学ぶ	講義		
5	TOPIKⅠ単語・動詞②		筆記	10	TOPIKⅠによく出題される単語や動詞を学ぶ	講義		
6	TOPIKⅠ単語・形容詞①		筆記	10	TOPIKⅠによく出題される単語や形容詞を学ぶ	講義		
7	TOPIKⅠ単語・形容詞②		筆記	10	TOPIKⅠによく出題される単語や形容詞を学ぶ	講義		
8	TOPIKⅠ出題形式読解①		筆記	10	単文の表現について学ぶ	講義		
9	TOPIKⅠ出題形式聴解①		筆記	10	リスニング練習	講義		
10	TOPIKⅠ出題形式読解②		筆記	10	情報文の表現について学ぶ	講義		
11	TOPIKⅠ出題形式聴解②		筆記	10	リスニング練習	講義		
12	TOPIKⅠ出題形式読解③		筆記	10	慣用文の表現について学ぶ	講義		
13	TOPIKⅠ出題形式聴解③		筆記	10	リスニング練習	講義		
14	TOPIKⅠ模擬試験 読解①				模擬試験実施	講義		
15	TOPIKⅠ模擬試験 聴解①				模擬試験実施	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		TOPIKⅠ徹底攻略 韓国語能力試験 TOPIKⅠ 総合対策 プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			業界英会話			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>会話を重視し、進路に向けて最低限の知識が付くよう、自身の話したいことを言葉にして学ぶ。 またレストランや空港でも対応できるよう、基本的なサービスに必要なコミュニケーション力を身に付け、外国人のお客様に抵抗なく対応できるようにする。</p>					<p>授業で学んだことを、オンラインレッスンでNative講師と実践する。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション、自己紹介		実技	5	授業の進め方、自己紹介の基本	講義		
2	レストラン英会話①				レストランでの必要な英語	講義		
3	レストラン英会話②				レストランでの必要な英語	講義		
4	オンラインレッスンⅠID作成/ホテル英会話①				IDを作成する/ホテルで使える英語を学ぶ	講義		
5	レストラン実技試験		実技 課題	15 5	実技試験/課題	講義		
6	ホテル英会話②		課題	5	オンラインレッスン① ホテルで使える英語を学ぶ	講義		
7	ホテル英会話③		課題	5	オンラインレッスン② ホテルで使える英語を学ぶ	講義		
8	Listening①		課題 筆記	5 15	オンラインレッスン③ 機内アナウンスを学ぶ	講義		
9	Listening②		課題	5	オンラインレッスン④ 機内アナウンスを学ぶ	講義		
10	トラベル英会話①		課題	5	オンラインレッスン⑤ 空港での英語を学ぶ	講義		
11	トラベル英会話②		課題	5	オンラインレッスン⑥ 入国審査での英語を学ぶ	講義		
12	トラベル英会話③		課題 筆記	5 15	オンラインレッスン⑦ 観光で使える英語を学ぶ	講義		
13	ショッピング①		課題	5	オンラインレッスン⑧ 買い物での英語を学ぶ	講義		
14	ショッピング②		課題	5	オンラインレッスン⑨ 買い物での英語を学ぶ(応用)	講義		
15	まとめ				前期の総まとめ	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					<p style="text-align: center;">A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			実践PCスキル			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>「Word」「Excel」ともに、各機能を理解しながら、社会人になってからもよく使用する機能を中心に学習し活用できるようになる。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・達成目標を目指して、Word・Excelの機能的な学習します。 Word：文書の編集・グリティングカードの作成など Excel：見積書・グラフ・日程表の作成など ・Word/Excel以外に個人情報や著作権などの情報倫理を学び、Eメールの送り方も学習します。 ・授業のはじめに10分入力と、10分デザインをします。 				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	ガイダンス/フォトブック【W】Eメールの送り方		課	5	今後の授業を説明。フォトブック構成。【W】Eメールの送り方・テンプレート			講義	
2	【W】文書の編集/情報倫理 課題案内				段組み・改ページ・タブまで学習する 課題案内			講義	
3	【W】課題作成		筆・課①	25	情報倫理についての筆記試験 前回学習した内容でテーマに沿って課題を作成する			講義	
4	【W】お絵かき・グリティングカードの作成		課②	15	図形やワードアートを使ってグリティングカードを作成する			講義	
5	【W】履歴書の作成				Wordを使って履歴書テンプレートを作成する			講義	
6	【E】基本操作・四則計算				基本的な操作に簡単な計算を学習する			講義	
7	【E】関数・表作成				簡単な関数・表の作成を学習する			講義	
8	【E】見積書フォームの作成				見積り作成に必要な機能と関数を学習し、見積書を完成させる（入力規則・応用			講義	
9	【E】復習・グラフ・シート操作				グラフの特性を知り作成する。 Excelシート操作の学習。			講義	
10								講義	
11	【E】Excel総復習・授業内試験		実	30	Excel総復習・授業内試験			講義	
12	【E】スケジュール表作成・印刷設定 表作成の活用・課題作成				白紙から管理表を作成する。印刷設定を学習する！ユーザー定義・条件付き書式・ハイパーリンクの操作学習			講義	
13	【E】課題作成				今まで学習した機能を使って日程表とポスター作成。フォトブックを仕上げる。			講義	
14			課③・課④	25				講義	
15	総復習 フィードバック				これまでの学習内容の振り返り			講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		オリジナル資料		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		日本文化研究				講師名		
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・世界とも比較しながら、日本文化に関わる様々なテーマに沿った基礎知識を習得する。 ・既成事実疑問を持ち、自ら調べ、考える力を育成する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の「歴史」「文化」「行事」「料理」「歌」など、分野別に講義を進めるとともに、体験や学生自身で調べ学習を行うことで教養を深めていく。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション				授業の進め方を理解する		講義	
2	導入（日本文化と海外文化の違い）				日本文化と海外文化の比較①（公共交通機関・建築・映像産業・働き方など）		講義	
3	日本と海外のマナーについて和食のマナー（※箸を持参してください）				日本文化と海外文化の比較②（マナー）和食のマナーを習得する		実技	
4	小テスト（和食のマナー）日本の年中行事について		筆記①	10	祝日、行事ごとの由来について調べ、学ぶ		講義	
5	日本の歌謡曲・ファッション				日本歌謡曲のと流行したファッションを知る・歌ってみる		講義	
6	日本の遊びを知ろう・体験しよう		実技	10	伝統的な日本の遊びを体験し、学びを深める		講義	
7	日本各地のお祭りについて				日本各地のお祭りについて学ぶ		実技	
8	小テスト（祝日・祭り）神社仏閣・写経体験		筆記② 課題①	10 10	神社・仏閣について知る 写経体験で集中力を高める		実技	
9	日本の漢字と方言について知ろう		課題②	10	漢字の歴史・外来語・方言について学びを深める		講義	
10	地方文化について研究①		課題③	10	グループに分かれて各テーマについて深く調べる（文化・料理・言葉・地名・暮らし）		実技	
11	地方文化について発表		発表①	15	グループごとに発表・フィードバック		実技	
12	地方文化について研究②		課題④	10	グループに分かれて各テーマについて深く調べる（文化・料理・言葉・地名・暮らし）		実技	
13	地方文化について発表		発表②	15	グループごとに発表・フィードバック		実技	
14	クイズ大会				クイズ大会にて学びを確認する		講義	
15	総復習						講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			文章表現			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
自分の考えを分にする能力を身に着け、日本語で美しい文章が書けるようになる。 ・日本語の語彙力を増やす ・文章力を養う ・考えを形にする					講義形式 前期：日本語での作文 後期：中級レベルの文法・語彙力を取り入れた文章が書けるようになる。				
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標			授業形式
				形式	点数				
1	オリエンテーション					なぜ日本語を学ぶのか？理解を深める			講義
2	単語・表現を学ぶ①四季					様々な単語・表現方法を学ぶ			講義
3	単語・表現を学ぶ②感性			課題	10	様々な単語・表現方法を学ぶ			講義
4	作文演習①					学びを活かした文章を作る			講義
5	作文発表①			実技	15	様々な作文の発表を聞くことにより、自分の引き出しを増やす			実技
6	単語・表現を学ぶ③動作					様々な単語・表現方法を学ぶ			講義
7	単語・表現を学ぶ④考え方			課題	10	様々な単語・表現方法を学ぶ			講義
8	作文演習②			課題	10	学びを活かした文章を作る			講義
9	作文発表②			実技	15	様々な作文の発表を聞くことにより、自分の引き出しを増やす			実技
10	単語・表現を学ぶ⑤日本の文化					様々な単語・表現方法を学ぶ			講義
11	単語・表現を学ぶ⑥韓国の文化			課題	10	様々な単語・表現方法を学ぶ			講義
12	作文演習③					学びを活かした文章を作る			講義
13	作文演習④			課題	15	学びを活かした文章を作る			講義
14	作文発表③			実技	15	様々な作文の発表を聞くことにより、自分の引き出しを増やす			実技
15	総復習 フィードバック					総復習			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			キャリアガイダンス			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定					授業形態：講義 ・就職活動の流れを理解し自分で就活する力をつける ・面接での自己表現力を身につける ・面接での柔軟性、対応力を実践し身につける			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション・就活の進め方				授業の目的、意義、就活の進め方を理解			
2	書類の書き方①		課題①	15	履歴書作成のポイント①・自己分析、事前課題の振り返りと完成（自己PR）			
3	書類の書き方②				履歴書作成のポイント②・志望動機作成のポイント			
4	説明会での重要なポイント、企業研究について		課題②	15	説明会参加におけるポイントを理解 求人票の理解・就職セミナーⅠについて			
5	面接対策① 講義				面接の基本について理解する			
6	面接対策② 実践		課題③	15	面接の質問対策（よくある質問）			
7	面接練習（実技試験）		実技①	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する			
8	グループディスカッション対策① 講義				グループディスカッションのポイントを理解する			
9	グループディスカッション対策② 実践				グループディスカッションの実践			
10	グループディスカッション対策③（実技試験）		実技②	10	グループディスカッション実技練習			
11	面接練習③ 応用（実技試験）		実技③	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する			
12	面接練習④ 応用（実技試験）		実技④	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する			
13	企業研究				企業研究の方法や就職情報サイトの活用方法を知る			
14	振り返り・今後の就活について				振り返りと今後の対策・就活書類の説明			
15	まとめ				これまでの総復習・就職セミナーⅡの準備を行う			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			サービス演習			講師名		
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>接客・サービス業界への就職を目指し、接客・サービスの基本を学ぶとともに、様々な接客・サービス業界の仕事を知る。</p>					<p>座学と演習を通じて、接客・サービスの基本を学ぶ。 各業界のプロフェッショナルから、各業界の魅力を学ぶ。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション						講義	
2	接客・サービスの基本①				接客・サービス業界で求められるスキルを知る		講義	
3	接客・サービスの基本②				挨拶の重要性を知る		講義	
4	接客・サービスの基本③				接客に相應しい身だしなみを知る		講義	
5	接客・サービスの基本④				接客に相應しい言葉遣いを学ぶ①		講義	
6	接客・サービスの基本⑤				接客に相應しい言葉遣いを学ぶ②		講義	
7	接客・サービス業界の仕事①				ホテル業界の仕事を知る①		講義	
8	接客・サービス業界の仕事②				ホテル業界の仕事を知る②		講義	
9	接客・サービス業界の仕事③				旅行業界の仕事を知る		講義	
10	接客・サービス業界の仕事④				鉄道業界の仕事を知る		講義	
11	接客・サービス業界の仕事⑤				エアライン業界の仕事を知る		講義	
12	接客・サービス業界の仕事⑥				ブライダル業界の仕事を知る		講義	
13	接客・サービス業界の仕事⑦				テーマパーク業界の仕事を知る		講義	
14	接客・サービス業界の仕事⑧				その他の接客・サービス業界の仕事を知る		講義	
15	まとめ						講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		スピーチトレーニング				講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1年次の結びに韓国語で1年間の成果発表ができるようになる。 韓国語で話し、伝える・伝わる楽しみを学ぶ。					前半：講義形式でスピーチ内容を取りまとめる 後半：スピーチに向けての演習			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション 現状のプレゼンテーションの確認				今の立ち位置を知る		講義	
2	自己分析①成果の振り返り				アイデア出し		講義	
3	自己分析②テーマ設定		課題	10	方向性を決め。スピーチ草稿に取り組む		講義	
4	スピーチ原稿作成①				スピーチ内容を作成・まとめる		講義	
5	スピーチ原稿作成②		課題	10	スピーチ内容を作成・まとめる		講義	
6	中間発表演習		実技	10	中間発表にむけてリハーサルをとり行う		講義	
7	中間発表①		課題	15	発表の練習、さらに改良するアイデアをもらう		講義	
8	中間発表②		実技	15	発表の練習、さらに改良するアイデアをもらう		講義	
9	文章を韓国語にトランスレート①				作成した文章をスピーチに仕上げる		講義	
10	文章を韓国語にトランスレート②		実技	10	作成した文章をスピーチに仕上げる		講義	
11	発表演習①				本番に向けてリハーサルをとり行う		講義	
12	発表演習②		実技	10	本番に向けてリハーサルをとり行う		講義	
13	発表①		課題	15	発表をとり行う		講義	
14	発表②		実技	15	発表をとり行う		講義	
15	総復習 フィードバック		課題	10	総復習		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ビジネスプレゼンテーション			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
社会人として必要なプレゼンテーションスキルを習得する。 またチームビルディングの重要性を理解するとともに、主体的に行動できる人材となる					BTS（少人数オーターメイト式学習法）を取り入れ、PDCAサイクルを使用しながらチームでプロジェクトの構想、発表を行う			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション 前期振り返り				前期の内容を振り返り、今後の授業の流れや目的を理解する	講義		
2	BTS企画構想（チーム）		課題	10	前期で決めたテーマを基に、より具体的な企画を構想する	講義		
3	プレゼンテーション技法 （PREP構造） BTS企画制作		課題	5	PREP構造を理解し、論理的なプレゼンテーションスキルを習得する	講義		
4	プレゼンテーション技法（図解の仕方） BTS企画制作		課題	5	効果的な図解の使用方法を学び、自身のプレゼンテーションに取り入れる	講義		
5	プレゼンテーション技法（ストーリーテリング-TAPS） BTS企画制作		課題	5	相手に伝えたい思いやコンセプトを、印象的なエピソードを交えて伝える手段を学ぶ	講義		
6	プレゼンテーション技法（身体感覚） BTS企画制作		課題	5	身体を使い、聴き手の五感に訴えられるスキルを習得する	講義		
7	プレゼンテーション技法（接客販売士） BTS企画制作		課題	5	接客販売士が駆使しているプレゼン手法を学び、自身のプレゼンテーション力を向上させる	講義		
8	BTS企画発表準備				校内発表に向けてチームで発表準備を行う	講義		
9	BTS企画発表準備				校内発表に向けてチームで発表準備を行う	講義		
10	BTS企画発表準備（リハーサル）		実技	10	校内発表に向けてリハーサル実施する	実技		
11	BTS校内発表会		課題 実技	10 20	校内発表	実技		
12	BTS校内発表フィードバック		課題	5	フィードバックを基に検証を行い、改善内容を検討する	講義		
13	PR動画準備（計画、絵コンテ作成）		課題	10	効果的なPR方法を考える内容に応じた絵コンテを作成	講義		
14	PR動画準備（撮影、編集）				前週に計画したPR動画の撮影、編集	講義		
15	PR動画発表、振り返り		実技	10	PR動画の発表、全体振り返り	実技		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			マナープロトコール検定対策			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>1. 社会人として必須のマナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識と技能を学ぶとともに日本の伝統文化に基づくしきたりやマナーを理解し身につける。</p> <p>2. マナー・プロトコール検定3級合格を目指す。</p>					<p>テキスト『マナー&プロトコールの基礎知識』に沿って授業を実施し、知識を習得する。過去問題に取り組み、知識を定着させ、検定合格を目指す。検定合格にむけ、家庭学習も奨励する。</p>			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション マナーとは何か/マナーの歴史と意味					序章・第1章を理解し、検定対策問題を解く		講義
2	国際人としてのプロトコール					第2章を理解し、検定対策問題を解く		講義
3	社会人に必要なマナー			筆記①	20	第3章を理解し、検定対策問題を解く		講義
4	ビジネスシーンでのマナー①					第4章を理解し、検定対策問題を解く		講義
5	ビジネスシーンでのマナー②			筆記②	20	第4章を理解し、検定対策問題を解く		講義
6	食事のマナー①					第5章を理解し、検定対策問題を解く		講義
7	食事のマナー②			筆記③	20	第5章を理解し、検定対策問題を解く		講義
8	「冠」のしきたり					第7章を理解し、検定対策問題を解く		講義
9	「婚」のしきたり			筆記④	20	第8章を理解し、検定対策問題を解く		講義
10	「葬」のしきたり					第9章を理解し、検定対策問題を解く		講義
11	「祭」のしきたり			筆記⑤	20	第10章を理解し、検定対策問題を解く		講義
12	検定直前対策					検定前の再復習		講義
13	日常のマナー					検定外のマナーについて習得する①		講義
14	日常のマナー					検定外のマナーについて習得する②		講義
15	まとめ					前期の振り返り		講義
追試詳細						達成度評価		使用教材
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定						<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>・マナー&プロトコールの基礎知識</p> <p>・マナー・プロトコール検定2級・3級問題集</p>

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語コミュニケーション			講師名	Native	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
韓国の方との交流を深める 1年前期で学んだ韓国語の実践、並びに発音練習を行いアウトプットできるようになる					オール韓国語で行う OBや韓国の方にご来校いただき、交流を図る			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
		形式	点数					
1	授業オリエンテーション			授業の進め方について学び、チーム分け			講義	
2	韓国語講師との交流			当校の韓国語講師と交流			講義	
3	韓国人タレントとの交流 (オンラインツアー)	レポート	15	HISオンラインツアーに参加 (ユ・シアン氏等)			講義	
4	韓国料理店の方との交流			韓国料理店の方との交流、料理のレシピを韓国語で学ぶ			講義	
5	韓国人留学生の方との交流(1)			韓国語で和遊びなどを紹介し、一緒に楽しむ			講義	
6	韓国人留学生の方との交流(2)	レポート	25	韓国語で学校近郊を案内し、交流を深める			講義	
7	OBとの交流会 準備			観光業界で活躍するOBをお招きし、質疑応答する準備			講義	
8	OBとの交流①旅行業界 実施			観光業界で活躍するNativeのOBを招きパネルトーク、質疑応答を行う			講義	
9	OBとの交流①旅行業界 振り返り	レポート	20	当日の様子を振り返り、韓国語でのお手紙を書きお送りする			講義	
10	OBとの交流②航空業界 実施			観光業界で活躍するNativeのOBを招きパネルトーク、質疑応答を行う			講義	
11	OBとの交流②航空業界 振り返り	レポート	20	当日の様子を振り返り、韓国語でのお手紙を書きお送りする			講義	
12	OBとの交流③ホテル業界 実施(1)			観光業界で活躍するNativeのOBを招きパネルトーク、質疑応答を行う			講義	
13	OBとの交流③ホテル業界 実施(2)			観光業界で活躍するNativeのOBを招きパネルトーク、質疑応答を行う			講義	
14	OBとの交流③ホテル業界 振り返り	レポート	20	当日の様子を振り返り、韓国語でのお手紙を書きお送りする			講義	
15	これまで学習した内容の復習			これまで学習した内容の復習			講義	
追試詳細				達成度評価		使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		韓国語基礎 I				講師名		
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
基礎文法と語彙を学び、基礎レベルの会話力とコミュニケーション能力を身につける					現地の大学で使用されているテキストをもとに中級レベルの文法・句型を学習。豊富な話題と豊かな表現力を磨く ペアワークを生かした、コミュニケーション能力の育成			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容を理解する		講義	
2	3A 신입생 환영회를 한다고 해요 (新入生へようこそ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
3	3A 먹어 보니까 맛있는데요 (食べてみると美味しいです)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
4	3A 컸다가 다시 켜 보세요 (もう一度見てください)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
5	3B 결혼하려면 아직 멀었어요 (結婚するにはまだ早い)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
6	3B 지금 입고 있는 옷이 참 예뻐요 (いま着ているスーツがピッタリです)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
7	3B 가요금이 사람 키만 해요 (カヤグムについて)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
8	4A 적성과 진로 (適性と進路)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
9	4A 남자와 여자 (男女)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
10	4A 옳고 그름 (正しい名前)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
11	4B 옛날이야기와 신화 (昔話と神話)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
12	4B 여행의 즐거움 (旅行の楽しみ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
13	4B 과학의 신비 (科学の謎)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
14	理解度テスト		筆記	20	3A~4B		講義	
15	まとめ						講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ソウル大 テキスト 3A、3B、4A、4B プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語基礎Ⅱ			講師名		
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
基礎文法と語彙を学び、基礎レベルの会話力とコミュニケーション能力を身につける					現地の大学で使用されているテキストをもとに中級レベルの文法・句型を学習。豊富な話題と豊かな表現力を磨く ペアワークを生かした、コミュニケーション能力の育成			
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容を理解する		講義	
2	3A 방을 바꿔 달라고 해 봐 (部屋を変えてください)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
3	3A 입어 보고 살걸 그랬어요 (着てください)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
4	3A 교통사고가 났다고요? (交通事故が発生しましたか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
5	3B 언제든지 일을 할 수 있어요 (いつでも仕事をすることができます)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
6	3B 나이가 들면 들수록 고향이 그리워져요 (年齢を重ねるほど、故郷が恋しくなりま)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
7	3B 두 사람이 연인 사이라니요? (二人は恋人ですか?)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
8	4A 건강한 삶 (健康的な生活)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
9	4A 속담과 관용어 (ことわざと慣用語)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
10	4A 흥미로운 세상 (興味深い世界)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
11	4B 언어와 생활 (言語と生活)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
12	4B 숫자의 세계 (数字の世界)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
13	4B 만남과 헤어짐 (出会いと別れ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義	
14	理解度テスト		筆記	25	3A~4B		講義	
15	まとめ						講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ソウル大 テキスト 3A、3B、4A、4B プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語基礎Ⅲ			講師名		
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
基礎文法と語彙を学び、基礎レベルの会話力とコミュニケーション能力を身につける					現地の大学で使用されているテキストをもとに中級レベルの文法・句型を学習、豊富な話題と豊かな表現力を磨く ペアワークを生かした、コミュニケーション能力の育成			
実施 回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション			授業の内容を理解する	講義			
2	3A 비가 이렇게 많이 올 줄 몰랐어요 (雨はこんな感じです)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
3	3A 일요일에는 아무 약속도 없어요	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
4	3A 한글날에 대해 들어 봤어요? (한글의日に聞いてみましたか?)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
5	3B 운동을 했더니 몸이 좋아졌어요	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
6	3B 전기를 아껴 쓰지 않으면 안돼요	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
7	3B 18과 거울이 깨지고 말았어요 (鏡が壊れてしまいました)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
8	4A 스포츠의 세계 (スポーツの世界)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
9	4A 공연과 축제 (パフォーマンスと祭)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
10	4A 한국의 대중문화 (韓国の大衆文化)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
11	4B 소중한 환경 (大切な環境)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
12	4B 동물과 식물 (動物と植物)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
13	4B 흥부와 놀부 (ノルブで興奮)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
14	理解度テスト	筆記	25	3A~4B	講義			
15	まとめ				講義			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	ソウル大 テキスト 3A、3B、4A、4B プリント		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語能力検定対策			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
韓国語能力試験Ⅰ（初級・中級）を高得点で合格することを目標とする					<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語能力試験（初級・中級）の問題を解くために必要な単語（200以上）、品詞の習得 ・韓国の日常生活に必要な言語運用能力の習得 ・中級レベルの作文が作成できるよう文法・語彙を学ぶ 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容を理解する	講義		
2	TOPIKⅠ 模擬試験 読解②				模擬試験実施	講義		
3	TOPIKⅠ 模擬試験 聴解②				模擬試験実施	講義		
4	TOPIKⅠⅡ 取得に向けて目標設定・品詞		筆記	10	各自の課題・目標設定 助詞、接続詞を学ぶ	講義		
5	作文対策・単語・ことわざ・慣用句		筆記	10	作文練習・中級単語・ことわざ、慣用句を学ぶ	講義		
6	作文対策・単語・ことわざ・慣用句		筆記	10	作文練習・中級単語・ことわざ、慣用句を学ぶ	講義		
7	作文対策・単語・ことわざ・慣用句		筆記	10	作文練習・中級単語・ことわざ、慣用句を学ぶ	講義		
8	文法・実用文の語彙		筆記	10	TOPIKに必要な文法・実用文の語彙について学ぶ	講義		
9	文法・実用文の語彙		筆記	10	TOPIKに必要な文法・実用文の語彙について学ぶ	講義		
10	文法・実用文の語彙		筆記	20	TOPIKに必要な文法・実用文の語彙について学ぶ	講義		
11	文法・表の読み取り問題		筆記	20	TOPIKに必要な文法・読み取りについて学ぶ	講義		
12	TOPIKⅡ 模擬試験・復習				模擬試験実施	講義		
13	TOPIKⅡ 模擬試験・復習				模擬試験実施	講義		
14	TOPIKⅡ 模擬試験・復習				模擬試験実施	講義		
15	まとめ				振り返り	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		TOPIKⅠ徹底攻略 韓国語能力試験 TOPIKⅠ 総合対策 プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			業界英会話			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
●身近なトピックを通して日常英会話を学び、自身の伝えたいことを表現できるようにする。					発音に重視し、きれいな英語を習得する				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション、自己紹介			実技	5	授業の進め方、自己紹介応用編			講義
2	コミュニケーション①					友人作りに使える英語を学ぶ			講義
3	コミュニケーション②					授業で使える英語を学ぶ			講義
4	生活①			筆記	10	交通で使える英語を学ぶ			講義
5	生活②					寮や学内で使える英語を学ぶ			講義
6	トラブル①					病院で使える英会話			講義
7	トラブル②					荷物紛失、事故の時に使える英会話			講義
8	課題発表/個人ワーク①			筆記	15	外国人に日本文化を伝える			講義
9	個人ワーク②					課題に沿ったワーク			講義
10	個人ワーク③					課題に沿ったワーク			講義
11	個人ワーク④			課題	20	リハーサル			講義
12	発表			実技	20	日本の文化案内実技試験			実技
13	テスト対策					次週のテスト対策			講義
14	実力テスト			筆記	30	オンラインレッスン⑨ 買い物での英語をを学ぶ（応用）			講義
15	まとめ					後期の総まとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			実践PCスキル			講師名		
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション検定（3級及び2級）が取得できる操作を学習し、検定合格を目指します。 ・検定内容以外でも、プレゼンに効果的なPowerPointの応用機能を学習し、活用できるようになります。 					<ul style="list-style-type: none"> ・達成目標を目指して、PowerPointの基本操作と検定特有の解答方法を習得します。 ・検定申し込み後は、授業の前半に「検定学習」をし、後半にはプレゼンに効果的な応用機能を活用した「課題作成」を行います。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	ガイダンス／現状確認 ／PPTアプリの紹介				授業の進め方・検定の案内	講義		
2	PowerPointの基礎Ⅰ				スライド番号・背景・文字の挿入 図形描画・画像の挿入・スライド挿入	講義		
3	PowerPointの基礎Ⅱ 授業内試験①		実	10	アニメーションの挿入・表の挿入 ・箇条書き記号 / アニメ無のテスト	講義		
4	検定3級にチャレンジ ／検定2級の操作				3級練習問題 アニメーションの応用・表の加工	講義		
5	検定2級/授業内試験②		実	15	その他の機能・注意事項/既定の図形 検定3級レベルのテスト	講義		
6	検定対策／課題案内及び作成				スライド開始番号・画像の保存と挿入 課題の案内及び作成開始	講義		
7	検定対策／課題作成		課	10	検定問題にチャレンジ 課題の作成	講義		
8	検定対策／課題作成		課	10	検定問題にチャレンジ 課題の作成	講義		
9	課題作成及び提出		課	10	検定問題にチャレンジ 課題の作成及び提出	講義		
10	プレゼンに役立つ機能				スライドマスタ・配布資料の印刷 アニメーションのタイミング設定	講義		
11	検定対策／課題作成		課	15	検定問題にチャレンジ 課題の作成	講義		
12	復習／授業内試験③		実	15	検定2級レベルのテスト	講義		
13	課題作成及び提出				課題の作成及び提出	講義		
14			課	15		講義		
15	総復習 フィードバック				これまでの学習内容の振り返り	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナル資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			日韓文化研究			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
日韓双方の文化の違いを理解し、国際理解を深める					日韓の文化、習慣、歴史などを多様な角度から比較し、日韓の様々な問題を理解する グループワークにて様々な意見交換を行い、相互理解を深める				
実施回数	学習項目			授業内テスト形式	点数	各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション					授業の内容を理解する			講義
2	歴史①			筆記	10	日韓の歴史について学ぶ			講義
3	歴史②			筆記	10	日韓の歴史について学ぶ			講義
4	習慣					日韓の習慣について学ぶ			講義
5	食事マナー					日韓の食事のマナーを知る			講義
6	食文化			筆記	10	日韓の食文化・食材について学ぶ			講義
7	お酒のマナー・お酒に関する文化			課題	20	日韓のお酒について学ぶ			講義
8	服飾文化					日韓の伝統衣服について学ぶ			講義
9	住居について					日韓の住居の特徴について学ぶ			講義
10	冠婚葬祭			筆記	10	日韓の冠婚葬祭について学ぶ			講義
11	遊び					日韓の伝統的な遊びについて学ぶ			講義
12	音楽					日韓の音楽について学ぶ			講義
13	観光地①			課題	20	日韓の観光地について学ぶ			講義
14	観光地②			課題	20	日韓の観光地について学ぶ			講義
15	まとめ					振り返り			講義
追試詳細						達成度評価		使用教材	
						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		デジタルテキスト プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			文章表現			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
前期の学びを活かし、中級レベルの文法・語彙力を取り入れた文章が書けるようになる					講義形式 前期：日本語での作文 後期：中級レベルの文法・語彙力を取り入れた文章が書けるようになる。				
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標			授業形式
				形式	点数				
1	オリエンテーション 前期の復習					目的を立ち返り、前期の復習をして学びに備える			講義
2	テーマ設定①ブレインストーミング					アイデア出し			講義
3	テーマ設定②テーマ設定			課題	10	方向性を決め。スピーチ草稿に取り組む			講義
4	日本語での文章作成①					前期で習得した言葉の表現を活かし、日本語での文章を作成する			講義
5	日本語での文章作成②			課題	10	前期で習得した言葉の表現を活かし、日本語での文章を作成する			講義
6	中間発表			実技	15	日本語でのスピーチ発表			実技
7	ネイティブ講師による講話			課題	15	ネイティブ講師から韓国について学ぶ			講義
8	日本語での文章作成③			課題	10	中間発表・講話を受けて、文章・内容を見直す			講義
9	文章を韓国語にトランスレート①					作成した文章をスピーチに仕上げる			講義
10	文章を韓国語にトランスレート②			課題	10	作成した文章をスピーチに仕上げる			講義
11	文章を韓国語にトランスレート③					作成した文章をスピーチに仕上げる			講義
12	発表演習					本番に向けてリハーサルをとり行う			実技
13	発表①			課題	15	発表をとり行う			実技
14	発表②			実技	15	発表をとり行う			実技
15	総復習 フィードバック					総復習			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料	

授業計画書

学部	屋	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			イベントプランニング			講師名		
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
Japan Party」に向けての企画・打ち合わせ・準備を、外国語学科3科合同で一から自分達自身で創り上げていく授業					授業形態：講義 外国人の方との接点・交流を大きなコンセプトに、外国人の方々に日本文化を感じてもらい、楽しんで頂くイベント創りをする			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	オリエンテーション・授業の進め方				自己紹介、ジャパンパーティとは		講義	
2	コンセプト決め				今年のコンセプトを考える		講義	
3	コンセプトプレゼン		実技	20	コンセプトプレゼンテーション		実技	
4	Japan Party準備		実技	5	役割分担		講義	
5	Japan Party準備		実技	5	屋台準備		実技	
6	Japan Party準備		実技	5	屋台準備		実技	
7	Japan Party準備		実技	5	屋台準備		実技	
8	Japan Party準備		実技	5	ステージ出し物準備		実技	
9	Japan Party準備		実技	5	ステージ出し物準備		実技	
10	Japan Party準備		実技	5	ステージ出し物準備		実技	
11	リハーサル		実技	10	屋台最終リハーサル		実技	
12	リハーサル		実技	10	ステージ最終リハーサル		実技	
13	本番（7月の第一土曜日）		実技	25	Japan Party本番		実技	
14	振替休講				Japan Partyの振替休講			
15	振替休講				Japan Partyの振替休講			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定 必要物を購入する時は、必ず担当教員の許可をえてからにすること。またレシートの裏にクラスと名前を記載すること。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修	
科目名		キャリアガイダンス				講師名			
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
1. 内定につながる各対策 2. キャリア形成、キャリアビジョンに向き合う					授業形態：講義 ・面接での自己表現力を身につける ・面接での柔軟性、対応力を実践しみにつける ・自分の人生を自分でデザインする				
					実施回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション・就活の進め方			授業の目的、意義、就活の進め方を理解	講義				
2	合同グループ面接			実践を通して学び、本番に備える	講義				
3	面接対策①	実技	20	ロールプレイング	講義				
4	面接・書類対策③ 内定者プログラム		5	・就職活動で苦手分野を克服する ・自身のキャリアプランを考える	講義				
5	面接・書類対策④ 内定者プログラム		5	・就職活動で苦手分野を克服する ・自身のキャリアプランを考える	講義				
6	面接・書類対策⑤ 内定者プログラム		5	・就職活動で苦手分野を克服する ・自身のキャリアプランを考える	講義				
7	面接・書類対策⑥ 内定者プログラム		5	・就職活動で苦手分野を克服する ・自身のキャリアプランを考える	講義				
8	キャリアアップ講座①	課題	10	業界人によるキャリアアップ講座	講義				
9	観光マーケット研究①	課題	10	様々な業界の仕事を知る	講義				
10	キャリアアップ講座②	課題	10	業界人によるキャリアアップ講座	講義				
11	観光マーケット研究②	課題	10	様々な業界の仕事を知る	講義				
12	キャリアアップ講座②	課題	10	業界人によるキャリアアップ講座	講義				
13	キャリアデザイン①			自己実現のために仕事を中心とした人生設計を行う	講義				
14	キャリアデザイン②			自己実現のために仕事を中心とした人生設計を行う	講義				
15	キャリアデザイン発表	実技	10	自身のキャリアデザインを共有する	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			サービス演習			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
接客・サービス業界への就職を目指し、 業界に相應しい人材となるため、 ウォーキング、ヘアメイク、発声を学ぶ					座学と実技をバランスよく取り入れながら展開する。 (座学で知識を学び、実技に結び付ける。)				
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式			
			形式	点数					
1	オリエンテーション					講義			
2	接客サービスの基本(復習)				1年次復習(接客に相應しい挨拶、身だしなみ、言葉遣いなどを復習する)	講義			
3	ウォーキング①				歩き方の基本姿勢を知る	実技			
4	ウォーキング②				足運び、腕の振りの理解と習得	実技			
5	ウォーキング③				美しい立ち居振る舞いを知る	実技			
6	ウォーキング④				ビデオチェック ウォーキング総まとめ	実技			
7	ヘアメイク①				普段のヘアメイクと接客時の ヘアメイクの違いを知る	講義			
8	ヘアメイク②				接客に相應しいメイクを知る	講義			
9	ヘアメイク③				接客に相應しいメイク・ヘアメイク実践	実技			
10	ボイストレーニング①				正しい発声とは何かを知る	講義			
11	ボイストレーニング②				発声を意識しながら、 人前で話すことに恐怖心を取り去る	講義			
12	ボイストレーニング③				様々なシーンを想定して話す	講義			
13	ボイストレーニング④				自分の声を把握する	講義			
14	ボイストレーニング⑤				身に付けた発声を活かしてスピーチ	実技			
15	まとめ					講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			スピーチトレーニング			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
1年次に学んだ韓国語の成果発表ができるようになる。 韓国語で話し、伝える・伝わる楽しみを学ぶ。					前半：講義形式でスピーチ内容を取りまとめる 後半：スピーチに向けての演習				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション 現状のプレゼンテーションの確認					今の立ち位置を知る			講義
2	自己分析①1年生の振り返り					アイデア出し			講義
3	自己分析②テーマ設定			課題	10	方向性を決め。スピーチ草稿に取り組む			講義
4	スピーチ原稿作成①					スピーチ内容を作成・まとめる			講義
5	スピーチ原稿作成②			課題	10	スピーチ内容を作成・まとめる			講義
6	中間発表演習			実技	10	中間発表にむけてリハーサルをとり行う			講義
7	中間発表①			課題	15	発表の練習、さらに改良するアイデアをもらう			講義
8	中間発表②			実技	15	発表の練習、さらに改良するアイデアをもらう			講義
9	文章を韓国語にトランスレート①					作成した文章をスピーチに仕上げる			講義
10	文章を韓国語にトランスレート②			実技	10	作成した文章をスピーチに仕上げる			講義
11	発表演習①					本番に向けてリハーサルをとり行う			講義
12	発表演習②			実技	10	本番に向けてリハーサルをとり行う			講義
13	発表①			課題	15	発表をとり行う			講義
14	発表②			実技	15	発表をとり行う			講義
15	総復習 フィードバック			課題	10	総復習			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			セールスプロモーション			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> ・機能ではなく、価値にお金を払ってもらうための運携した ・営業・マーケティング・ITを学ぶ。 ・商品販売の基礎と実践 ・学内での商品販売 【販売日】7月上旬予定					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・営業マンとしての心得、話し方 ・商品の売り方 ・企画書の作り方 				
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標			授業形式
				形式	点数				
1	オリエンテーション・授業の進め方					自己紹介、モノを売るとは			講義
2	マーケティングとは			課題	10	マーケティング基礎を学ぶ			講義
3	3C分析			課題	10	3C分析を学ぶ			講義
4	売れる仕掛け研究①					モノが売れるしくみ			講義
5	売れる仕掛け研究②					インターネット販売戦略			講義
6	メンタルアップトレーニング①			筆記	20	感じの良い営業マンになるには			実技
7	メンタルアップトレーニング②					心が折れた時の対処法			実技
8	課題発表					オリジナル弁当販売			講義
9	マーケティング調査			課題	10	学生に需要のある食べ物を調査			講義
10	グループワーク					企画書とパワーポイントの作成			実技
11	グループワーク			実技	10	企画書とパワーポイントの作成			実技
12	リハーサル			実技	10	リハーサル			実技
13	本番			実技	20	プレゼンテーション本番			実技
14	販売			実技	10	1位のオリジナル弁当を販売する			実技
15	まとめ					前期の総まとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料 プリント配布	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ビジネス韓国語			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
電話対応やビジネスメールなど、ビジネスのシーンで使える韓国語を身につける					さまざまなケースに対応できるようになるために、ロールプレイング形式などを活用した授業を展開				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション					授業の内容について理解する			講義
2	ビジネスルール					日本とは違う韓国のビジネスルールを知る			講義
3	韓国のビジネス事情			課題	20	韓国企業担当者による講義			講義
4	ビジネスコミュニケーション①			実技	10	挨拶時のマナーについて学ぶ 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
5	ビジネスコミュニケーション②					上下関係によるマナー 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
6	ビジネスコミュニケーション③			実技		会食、接待時のマナー 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
7	ビジネスコミュニケーション④					指示の受け方と報告、連絡・相談 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
8	ビジネスコミュニケーション⑤			実技	10	来客対応と訪問の基本マナー 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
9	ビジネスコミュニケーション⑥			実技	10	会議への出席 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
10	ビジネスコミュニケーション⑦			実技	10	会議でのプレゼンテーション 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
11	ビジネスコミュニケーション⑧					チームワークとネットワーク 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
12	ビジネスコミュニケーション⑨					他部署との関わり 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
13	ビジネスコミュニケーション⑩			実技	10	電話対応① 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
14	ビジネスコミュニケーション⑪			実技	10	電話対応② 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
15	まとめ			筆記	20				講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			韓国語（通訳）			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
通訳に必要な資質、道具、手法の理解。 簡単な通訳の演習でスキルを身に付ける。					使用する語彙や表現についての説明やプラクティスの後、クイック・レスポンス、ディクテーション、フレーズ・トランスレーション、シャドーイングなどの練習を、個人、ペア、グループ・ワークで行う。				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式				
		形式	点数						
1	オリエンテーション			授業の進め方について理解する					
2	通訳の基本			通訳とはどのような仕事か？通訳の種類、通訳と翻訳、通訳者になるためには。	講義				
3	通訳の技法1			通訳の基本技能を学ぶ、ペアワーク	実技				
4	通訳の技法2			通訳の基本技能を学ぶ、ペアワーク	実技				
5	通訳の技法3			通訳の基本技能を学ぶ、ペアワーク	実技				
6	通訳の技法4			通訳の基本技能を学ぶ、ペアワーク、グループワーク	実技				
7	日常生活の通訳①	実技	10	演習、ペアワーク、グループワーク	実技				
8	日常生活の通訳②	実技	10	演習、ペアワーク、グループワーク	実技				
9	学校での通訳	実技	10	演習、ペアワーク、グループワーク	実技				
10	病院での通訳	実技	10	演習、ペアワーク、グループワーク	実技				
11	道案内の通訳①	実技	10	演習、ペアワーク、グループワーク	実技				
12	道案内の通訳②	実技	10	演習、ペアワーク、グループワーク	実技				
13	観光地の通訳①	実技	10	演習、ペアワーク、グループワーク	実技				
14	観光地の通訳②	実技	10	演習、ペアワーク、グループワーク	実技				
15	まとめ	実技	20		実技				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			韓国語（翻訳）			講師名			
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
翻訳に必要な要約、書き換え、言い換えなどの能力を身に着け、韓国の絵本、アニメを翻訳ができるようになる。 実践的なコミュニケーション能力を養う					グループディスカッションを中心とした授業 コミュニケーションを通じて互いにフィードバックし合うことによって納得のできる訳文を導き出す				
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業 形式	
			形式	点数					
1	オリエンテーション				授業内容を理解する			講義	
2	翻訳の技法1		課題	5	翻訳の基本技法を学ぶ			講義	
3	翻訳の技法2		課題	5	翻訳の基本技法を学ぶ			講義	
4	翻訳の技法3		課題	5	翻訳の基本技法を学ぶ			講義	
5	翻訳の技法4		課題	5	翻訳の基本技法を学ぶ			講義	
6	絵本の翻訳1（韓国語から日本語）		課題	5	絵本を各自で翻訳、ディスカッション			実技	
7	絵本の翻訳2（韓国語から日本語）		課題	5	絵本を各自で翻訳、ディスカッション			実技	
8	絵本の翻訳3（日本語から韓国語）		課題	5	絵本を各自で翻訳、ディスカッション			実技	
9	絵本の翻訳4（日本語から韓国語）		課題	10	絵本を各自で翻訳、ディスカッション			実技	
10	アニメの翻訳1（韓国語から日本語）		実技	10	アニメを各自で翻訳、ディスカッション			実技	
11	アニメの翻訳2（日本語から韓国語）		実技	10	アニメを各自で翻訳、ディスカッション			実技	
12	アニメの翻訳3（韓国語から日本語）		実技	10	アニメを各自で翻訳、ディスカッション			実技	
13	アニメの翻訳4（日本語から韓国語）		実技	10	アニメを各自で翻訳、ディスカッション			実技	
14	グループ発表		実技	15				実技	
15	まとめ		課題		振り返り			講義	
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語応用 I			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ネイティブ並みの発音やイントネーションを洗練させると同時に高度な韓国語コミュニケーション能力の涵養を目指す					現地の大学で使用されているテキストをもとに、実生活で使える生きた韓国語を習得する 人間関係を円滑にするための適切な文法表現およびコミュニケーションのスキルを身につける			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	オリエンテーション					授業の内容を理解		講義
2	5A ① 외모와 성격 I (ルックスと性格 I)			筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
3	5A ② 사랑하는 마음 I (愛する心 I)			筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
4	5A ③ 가정과 사회 I (家庭と社会 I)			筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
5	5A ④ 직업과 직장 I (職業と職場 I)			筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
6	5A ⑤ 가르침과 배움 I (教えて学ぶ I)			筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
7	5A ⑥ 한국 탐구 I (韓国を探る I)			筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
8	5B ⑦ 대중문화 I (大衆文化 I)			筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
9	5B ⑧ 의식주와 생활 I (儀式主義と生活 I)			筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
10	5B ⑨ 도시와 환경 I (都市と環境 I)			筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
11	5B ⑩ 관념의 세계 I (観念の世界 I)			筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
12	5B ⑪ 역사의 발자취 I (歴史の足跡 I)			筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
13	5B ⑫ 과학과 미래 I (科学と未来 I)			筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
14	5B ⑬ 문학의 향기 I (文学の香り I)			筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク		講義
15	まとめ							講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ソウル大 テキスト 5A、5B	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語応用Ⅱ			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ネイティブ並みの発音やイントネーションを洗練させると同時に高度な韓国語コミュニケーション能力の涵養を目指す					現地の大学で使用されているテキストをもとに、実生活で使える生きた韓国語を習得する 人間関係を円滑にするための適切な文法表現およびコミュニケーションのスキルを身につける			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション			授業の内容を理解	講義			
2	5A ① 외모와 성격Ⅱ (ルックスと性格Ⅱ)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
3	5A ② 사랑하는 마음Ⅱ (愛する心Ⅱ)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
4	5A ③ 가정과 사회Ⅱ (家庭と社会Ⅱ)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
5	5A ④ 직업과 직장Ⅱ (職業と職場Ⅱ)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
6	5A ⑤ 가르침과 배움Ⅱ (教えて学ぶⅡ)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
7	5A ⑥ 한국 탐구Ⅱ (韓国を探るⅡ)	筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
8	5B ⑦ 대중문화Ⅱ (大衆文化Ⅱ)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
9	5B ⑧ 의식주와 생활Ⅱ (儀式主義と生活Ⅱ)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
10	5B ⑨ 도시와 환경Ⅱ (都市と環境Ⅱ)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
11	5B ⑩ 관념의 세계Ⅱ (観念の世界Ⅱ)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
12	5B ⑪ 역사의 발자취Ⅱ (歴史の足跡Ⅱ)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
13	5B ⑫ 과학과 미래Ⅱ (科学と未来Ⅱ)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
14	5B ⑬ 문학의 향기Ⅱ (文学の香りⅡ)	筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク	講義			
15	まとめ				講義			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	ソウル大 テキスト 5A、5B		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス				
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修		
科目名			韓国語応用Ⅲ			講師名				
担当講師の実務経歴			○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
ネイティブ並みの発音やイントネーションを洗練させると同時に高度な韓国語コミュニケーション能力の涵養を目指す					現地の大学で使用されているテキストをもとに、実生活で使える生きた韓国語を習得する 人間関係を円滑にするための適切な文法表現およびコミュニケーションのスキルを身につける					
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式		
			形式	点数						
1	オリエンテーション				授業の内容を理解			講義		
2	5A ① 외모와 성격 Ⅲ (ルックスと性格 Ⅲ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
3	5A ② 사랑하는 마음 Ⅲ (愛する心 Ⅲ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
4	5A ③ 가정과 사회 Ⅲ (家庭と社会 Ⅲ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
5	5A ④ 직업과 직장 Ⅲ (職業と職場 Ⅲ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
6	5A ⑤ 가르침과 배움 Ⅲ (教えて学ぶ Ⅲ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
7	5A ⑥ 한국 탐구 Ⅲ (韓国を探る Ⅲ)		筆記	5	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
8	5B ⑦ 대중문화 Ⅲ (大衆文化 Ⅲ)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
9	5B ⑧ 의식주와 생활 Ⅲ (儀式主義と生活 Ⅲ)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
10	5B ⑨ 도시와 환경 Ⅲ (都市と環境 Ⅲ)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
11	5B ⑩ 관념의 세계 Ⅲ (観念の世界 Ⅲ)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
12	5B ⑪ 역사의 발자취 Ⅲ (歴史の足跡 Ⅲ)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
13	5B ⑫ 과학과 미래 Ⅲ (科学と未来 Ⅲ)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
14	5B ⑬ 문학의 향기 Ⅲ (文学の香り Ⅲ)		筆記	10	・本文読み、語彙学習、文法項目の学習、会話練習、聴解練習、ペアワーク			講義		
15	まとめ							講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材			
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ソウル大 テキスト 5A、5B			

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			韓国語能力検定対策			講師名			
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
韓国語能力試験Ⅱ（上級）を高得点で合格することを目標とする					<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語能力試験（上級）の問題を解くために必要な単語、品詞などの習得 ・ネイティブレベルに近い言語運用能力の習得 ・中上級レベルの作文が作成できるよう文法・語彙を学ぶ 				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式				
		形式	点数						
1	オリエンテーション			授業の内容を理解する	講義				
2	漢字語、オノマトペ	筆記	10	漢字語の復習、韓国の擬態語・擬音語を学ぶ	講義				
3	TOPIKⅡ読解・聴解①	筆記	10	上級資格取得に向けた読解力、聴解力を身につける	講義				
4	TOPIKⅡ読解・聴解②	筆記	10	上級資格取得に向けた読解力、聴解力を身につける	講義				
5	作文対策・単語・ことわざ・慣用句	筆記	10	作文練習・上級単語・ことわざ、慣用句を学ぶ	講義				
6	文法・実用文の語彙	筆記	15	TOPIKに必要な文法・実用文の語彙について学ぶ	講義				
7	TOPIKⅡ模擬試験・復習			模擬試験実施	講義				
8	TOPIKⅡ読解・聴解④	筆記	10	上級資格取得に向けた読解力、聴解力を身につける	講義				
9	TOPIKⅡ読解・聴解⑤	筆記	10	上級資格取得に向けた読解力、聴解力を身につける	講義				
10	文法・実用文の語彙	筆記	15	TOPIKに必要な文法・実用文の語彙について学ぶ	講義				
11	時事対策	筆記	10	韓国の時事ニュースについて学ぶ	講義				
12	TOPIKⅡ模擬試験・復習			模擬試験実施	講義				
13	TOPIKⅡ模擬試験・復習			模擬試験実施	講義				
14	TOPIKⅡ模擬試験・復習			模擬試験実施	講義				
15	まとめ			振り返り	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		韓国語能力試験 TOPIKⅡ 総合対策		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			韓国伝統芸術			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
ユネスコ無形文化財ハンソリ、伝統楽器、伝統舞踊などを通し、韓国伝統芸能・芸術の理解を深める					宮中芸能、民族芸能を通し、歴史的・文化的背景を知る 音、舞、歌、色鮮やかな衣装に触れることで文化を体得でき、 真の国際人としての教養を身につける				
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標			授業形式
				形式	点数				
1	オリエンテーション					授業の内容を理解			講義
2	전통부용① (伝統舞踊①)					궁중무용(宮中舞踊)について学ぶ			講義
3	전통부용② (伝統舞踊②)					승무(僧舞)について学ぶ			講義
4	전통부용③ (伝統舞踊③)					검무(劍舞)について学ぶ			講義
5	전통부용④ (伝統舞踊④)			筆記	10	부채춤(扇の舞)について学ぶ			実技
6	전통부용⑤ (伝統舞踊⑤)			実技	20	まとめ			実技
7	ユネスコ無形文化遺産 판소리① (パンソリ①)					춘향가(春香歌)について学ぶ			講義
8	ユネスコ無形文化遺産 판소리② (パンソリ②)					심청가(沈清歌)について学ぶ			講義
9	ユネスコ無形文化遺産 판소리③ (パンソリ③)					흥보가(興甫歌)について学ぶ			講義
10	ユネスコ無形文化遺産 판소리④ (パンソリ④)			筆記	10	수궁가(水宮歌)について学ぶ			講義
11	ユネスコ無形文化遺産 판소리⑤ (パンソリ⑤)			実技	20	まとめ			実技
12	사물놀이①(サムルノリ*現代音楽①)					사물(サムル)について学ぶ			講義
13	사물놀이②(サムルノリ②)			筆記	10	상모(象帽)について学ぶ			講義
14	사물놀이③(サムルノリ③)			実技	20				実技
15	まとめ			筆記	10				講義
追試詳細						達成度評価		使用教材	
						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			接客英会話			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
観光業界で必要となる基礎英会話力を養いながら、7月実施の「みんなの外国語検定（ブロンズ）」受験合格を目指し対策を行う。					授業形態：講義				
					検定の流れを意識し、対策を進めていく。 ブロンズレベルからシルバーレベルを目指す。				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション・授業の進め方					みんなの外国語検定とは			講義
2	レストラン					店員目線の英会話を学ぶ（オーダー、会計）			講義
3	レストラン			筆記	15	店員目線の英会話を学ぶ（予約）			講義
4	買い物					店員目線の英会話を学ぶ（接客）			講義
5	買い物			筆記	15	店員目線の英会話を学ぶ（クレーム対処）			講義
6	検定対策①			筆記	10	ブロンズ検定の模擬問題実施①			講義
7	検定対策②			筆記	10	ブロンズ検定の模擬問題実施②			講義
8	検定対策③			筆記	10	ブロンズ検定の模擬問題実施③			講義
9	検定対策④			筆記	10	ブロンズ検定の模擬問題実施④			講義
10	検定対策⑤			筆記	10	ブロンズ検定の模擬問題実施⑤			講義
11	検定対策⑥			筆記	10	ブロンズ検定の模擬問題実施⑥			講義
12	検定対策⑦			筆記	10	ブロンズ検定の模擬問題実施⑦			講義
13	みんなの外国語検定					検定実施			講義
14	検定振り返り					シルバー検定にチャレンジ			講義
15	まとめ					前期の振り返り、英語クイズ大会			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料 プリント配布	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Social Media Planning			講師名			
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
SNSを利用したマーケティングを利用し観光業界のアピール方法を3科合同で学び英語・中国語・韓国語で観光動画を制作する					商品のイメージが沸き立つ動画撮影技術と編集技術を学び、販売に結び付くツールを作成できるようになる。				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
			形式	点数					
1	ソーシャルメディアとSNS撮影基礎と企画				SMMとSNSの基本知識	講義			
2	ソーシャルメディアとSNS撮影基礎と企画				活用する動画の企画・撮影・編集について学ぶ	講義			
3	スマホでカッコイイ動画撮影		課題	10	スマホの設定、撮影アングル、トランジションについて学ぶ	講義			
4	編集基礎		課題	15	撮影した動画をスマホアプリで編集飽きない動画作品の知識を学びます	講義			
5	ドローン操作・ジンバルについて				ドローンについて基礎知識、ジンバルの役割の理解	講義			
6	ドローン操作・ジンバルについて		課題	15	ドローン操作方法について理解	実技			
7	ドローン演習フィールドワーク		実技	20	野外でのドローン飛行演習（2コマ）	講義			
8	振替休講				フィールドワークの振替休講	講義			
9	課題発表				大阪観光PR動画制作	講義			
10	グループワーク				PR動画撮影地決定	講義			
11	グループワーク				PR動画制作	実技			
12	グループワーク				PR動画制作	実技			
13	本番		実技	30	撮影	実技			
14	編集		実技	10	撮影した動画を編集する	講義			
15	まとめ				撮影動画鑑賞会	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			イベントプランニング			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
外国語学科3科合同でイベントを自分達自身で創り上げていく授業。					授業形態：講義				
					様々な国際交流や文化体験を取り入れたイベント創りをする				
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
				形式	点数				
1	オリエンテーション・授業の進め方			課題	10	授業内容について、チーム決め		講義	
2	課題①アメリカの文化					ハロウィンについて		講義	
3	グループワーク					英語科生を中心にハロウィンの準備		実技	
4	グループワーク			課題	10	英語科生を中心にハロウィンの準備		実技	
5	課題発表			実技	20	ハロウィンパーティ実施		実技	
6	課題②韓国の文化					韓国料理について		講義	
7	グループワーク					韓国語科生を中心に料理パフォーマンスの準備		実技	
8	グループワーク					韓国語科生を中心に料理パフォーマンスの準備		実技	
9	レストラン準備			課題	10	韓国レストラン準備		実技	
10	課題発表			実技	20	韓国レストラン本番（2コマ分）		実技	
11	振替休講					韓国レストランの振替休講		実技	
12	課題②台湾の文化					旧正月について		講義	
13	グループワーク					中国語科を中心に旧正月イベントの準備		実技	
14	グループワーク			課題	10	中国語科を中心に旧正月イベントの準備		実技	
15	課題発表			実技	20	旧正月イベント実施		実技	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定 必要物を購入する時は、必ず担当教員の許可を得てからにすること。またレシートの裏にクラスと名前を記載すること。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			サービス演習			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>接客・サービス業界への就職を目指し、多種多様なお客様への接客方法を学ぶ。</p> <p>1年半学んできたことを取り入れたロールプレイを考え、実践することで、各自の接客スタイルを確立する。</p>					<p>座学、実技、グループワークを取り入れながら、知識、技術、対応力を磨く。</p>				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標			授業形式		
		形式	点数						
1	オリエンテーション						講義		
2	多種多様なお客様への接客①			高齢者への接客を知る 高齢者体験			講義		
3	多種多様なお客様への接客②			様々な障害について理解する			実技		
4	多種多様なお客様への接客③			視力障害者への対応を知り、 実際に体験する			実技		
5	多種多様なお客様への接客④			聴力障害者、まひがあるお客様などへの 対応を知る			実技		
6	多種多様なお客様への接客⑤			車いす利用者への対応を知る。			実技		
7	多種多様なお客様への接客⑥			車いす利用者への対応実践			講義		
8	多種多様なお客様への接客⑥			障害者への対応を考える			講義		
9	接客ケーススタディ①			様々な場面を想定しながら臨機応変な 対応ができるように考える			実技		
10	接客ケーススタディ②			様々な場面を想定しながら臨機応変な 対応ができるように考える			講義		
11	接客ロールプレイ①			今まで学習してきたことを取り入れ て、接客場面のロールプレイを考 える。			講義		
12	接客ロールプレイ②			ロールプレイ練習①			講義		
13	接客ロールプレイ③			ロールプレイ練習②			講義		
14	接客ロールプレイ④			ロールプレイ発表			実技		
15	総まとめ						講義		
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			セールスプロモーション			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
外部企業との産学連携授業。訪日外国人旅行者に対し、ホテルの新たな宿泊プランを考案する					授業形態：講義 主にグループワークとなります。前期で学んだマーケティングや販売戦略を元に現代のニーズに合ったものを考えていく。				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション・授業の進め方					前期の復習			講義
2	課題発表					ホテルの新規宿泊プランを考える			講義
3	フィールドワーク			課題	20	ホテルにて趣旨説明			講義
4	グループワーク					FW内で感じたことをグループ内で共有			講義
5	グループワーク					各チームでコンセプトを考える			講義
6	グループワーク					マーケティング調査			実技
7	グループワーク					PPT作成			実技
8	グループワーク					台本作成			講義
9	リハーサル			課題	20	リハーサル			講義
10	本番			実技	30	プレゼンテーション本番			実技
11	結果発表					順位発表			実技
12	制作物作成					選ばれた商品のパンフレット制作			実技
13	制作物作成			課題	10	選ばれた商品のパンフレット制作			実技
14	発表			実技	20	パンフレット選考会			実技
15	まとめ					後期の総まとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料 プリント配布	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ゼミナール			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
①観光の目的となるマーケットについて知識を習得する ②幅広い客層の様々な目的に対応できる広い分野の教養を身に付ける					各分野のプロ、詳しい先生をスポットで招き、人気のテーマ・ディスティネーション・対象客層、専門用語の解説を学ぶ。 各テーマの企画や手配上の注意、各客層の対応方法などを学ぶ。				
実施回数	学習項目			授業内テスト形式	点数	各回の到達目標			授業形式
1	ブライダル業界を知る①			課題	5	ブライダル業界の仕事とは			講義
2	ブライダル業界を知る②			課題	5	結婚式のマナー			講義
3	お酒の種類と楽しみ方①			課題	5	世界の洋酒、日本酒について学ぶ			講義
4	お酒の種類と楽しみ方②			課題	5	世界の人気カクテって何？			講義
5	写真の世界①			課題	5	カメラについての基礎知識（カメラ持参）			講義
6	写真の世界②			課題	5	写真撮影大会（FW）			実技
7	登山とトレッキング			課題	10	登山の魅力			講義
8	ホテル研究			課題	10	世界各国の有名ホテルについて学ぶ			講義
9	イスラム教を知る			課題	10	イスラム教の知識を学ぶ			講義
10	クルーズの世界			課題	10	クルーズ旅行の魅力			講義
11	カジノ①			課題	5	基礎知識、ブラックジャック			実技
12	カジノ②			課題	5	ルーレット			実技
13	世界の食体験			課題	10	世界のカップ麺について			講義
14	仏像の楽しみ方			課題	10	仏像の魅力を知り、歴史や知識を学ぶ			講義
15	まとめ					後期の総まとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定 各講義のレポートを授業に提出すること					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料 プリント配布	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス				
時間数		2		単位数	2	区分	専門	必修		
科目名		チームビルディング				講師名				
担当講師の実務経歴		○		実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
グループワークにてリーダーシップやチームワーク、責任感を養うとともに様々な業種の取り組みを理解する					企画からプレゼンまでの一連の流れを学び、企業の方へのプレゼンテーションに向けた企画立案、資料作成、プレゼンの伝え方の演出にグループごとに取り組む					
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式		
			形式	点数						
1	オリエンテーション テーマ発表				<input type="checkbox"/> 授業の進め方・テーマを理解する <input type="checkbox"/> 自身の所属チームを知る			講義		
2	チームビルディング		課題	10	<input type="checkbox"/> コミュニケーションワークに主体的に参加し、チームワークの向上に寄与する			講義		
3	取り組み調査		課題	10	<input type="checkbox"/> 様々な業種の取り組みを調査・理解する			講義		
4	グループワーク① ブレインストーミング・内容決定		課題	10	<input type="checkbox"/> チームの発表内容を決定する			講義		
5	グループワーク② 役割振り分け・ラフ案作成		課題	10	<input type="checkbox"/> チーム内で役割を確定させる <input type="checkbox"/> 発表ツールのラフ案を完成させる			講義		
6	グループワーク③ 発表資料作成・シナリオ作成		課題	10	<input type="checkbox"/> 発表用資料を作成する <input type="checkbox"/> 発表時のシナリオを作成する			講義		
7	グループワーク④ プレゼンテーション練習		課題	10	<input type="checkbox"/> プレゼンテーションの練習を実施する			講義		
8	プレゼンテーション（初回リハーサル）		実技	10	<input type="checkbox"/> リハーサルを行い修正点を明確にする （課題発見力の向上を図る）			講義		
9	グループワーク⑤ プレゼンテーション内容修正		課題	10	<input type="checkbox"/> 先週を振り返り、修正を加え完成させる （課題解決力の向上を図る）			講義		
10	プレゼンテーション（最終リハーサル）		実技	10	<input type="checkbox"/> 完成版の資料・シナリオでリハーサルを行う			講義		
11	プレゼンテーション最終調整				<input type="checkbox"/> 本番直前同様の会場にて最終調整を行う			講義		
12	プレゼンテーション（本番）		実技	10	<input type="checkbox"/> 練習の成果を発揮し、役割を全うする <input type="checkbox"/> 他チームの発表から気づきを得る			講義		
13	選抜チーム発表・振り返り 実習先別懇親会				<input type="checkbox"/> 振り返りから働く環境に関する知見を深める <input type="checkbox"/> 実習先別懇親会で不安を払拭する			講義		
14	プレゼンテーション（企業様向け）				<input type="checkbox"/> 企業担当者から有益な情報を得る			講義		
15	まとめ				<input type="checkbox"/> 企業様からのフィードバックを元に今後の取り組み方を考える			講義		
追試詳細					達成度評価			使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布プリント		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ビジネススキル			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
社会人基礎力と実践的ビジネススキルの習得					ビジネスマナーを学び、実践できるようになる				
実施 回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式		
				形式	点数				
1	オリエンテーション 働く意識・仕事への取り組み方					期待される社会人職業者を目指して、 ビジネスマナーを学び実践できるよう になる		講義	
2	お辞儀の基本 みだしなみ、感じの良いあいさつ					お辞儀の意味を知り、使い分ける 第一印象が良くなる		講義	
3	会社の基本とルール 仕事上の態度と健康管理					会社について学び、働くうえで心得て おくべきルールを知る		講義	
4	指示の受け方 報告・連絡・相談					拝命の流れ、仕事上のコミュニケー ションの取り方を理解する		講義	
5	敬語、話し方、聞き方 コンプライアンスとハラスメント					敬語を学び、使えるようになる 社会倫理を学び、心得る。		講義	
6	訪問のマナー アポイントメント、名刺交換					企業を訪問するマナーを知る		講義	
7	マニュアルとは 仕事の進め方、スケジュール管理					仕事の効率的な進め方を知る		講義	
8	社内文書の書き方 肩書と役職					社内文書を知り、作成できるようにな る		講義	
9	社外文書の書き方 24節気、時候のあいさつ					社外文書を知り、作成できる湯になる		講義	
10	メールの書き方 携帯電話のマナー					メールの書き方を知り、実践する 携帯電話のマナーを知る		講義	
11	電話対応 伝言の頼み方、伝え方					電話対応のマナーを知る 間違いなく内容を伝えるポイントを学 ぶ		講義	
12	電話対応 伝言の受け方、メモの取り方					電話対応のマナーを知る 伝言の受け方、メモの取り方を学ぶ		講義	
13	統計・データの読み方 表のまとめ方と特徴					統計やデータを読み解ける 効果的な表やグラフを選んで作成でき る		講義	
14	情報収集 インターネットリテラシー					新聞・メディアなど情報収集先を知る インターネットの活用方法を学ぶ		講義	
15	これまで学習した内容の復習					これまで学習した内容の復習		講義	
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ビジネス韓国語			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
電話対応やビジネスメールなど、ビジネスのシーンで使える韓国語を身につける。					さまざまなケースに対応できるようになるために、ロールプレイング形式などを活用した授業を展開。				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション					授業の内容について理解する			講義
2	韓国のビジネス事情			課題	20	韓国企業担当者による講義			講義
3	グループワーク			課題	10	ブレインストーミングによる発散、収束			講義
4	ビジネスコミュニケーション①			課題	10	ビジネス文書作成① 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
5	ビジネスコミュニケーション②			課題	10	ビジネス文書作成② 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
6	ビジネスコミュニケーション③			課題	10	ビジネス文書作成③ 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
7	ビジネスコミュニケーション④					ビジネスメール① 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
8	ビジネスコミュニケーション⑤			課題	10	ビジネスメール② 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
9	ビジネスコミュニケーション⑥					会社数字の読み方 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
10	ビジネスコミュニケーション⑦			課題	10	会社数字のまとめ方 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
11	ビジネスコミュニケーション⑧					統計・データの読み方 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
12	ビジネスコミュニケーション⑨					統計・データのまとめ方 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
13	ビジネスコミュニケーション⑩			課題	10	情報収集とメディアの活用 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
14	ビジネスコミュニケーション⑪			筆記	10	ビジネスと税金・法律知識 韓国語のビジネスフレーズを学ぶ			講義
15	まとめ								講義
追試詳細						達成度評価		使用教材	
						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語（通訳）			講師名	Native	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
通訳の仕事を実践・体験する 臨機応変に韓国語で応答できるようになる					韓国語ガイドツアーをプランニングし、実際にガイドを行う			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション プランニング基礎			プランニングの基礎知識、セオリーや用語を学ぶ	講義			
2	日帰りプランニング①大阪中沿線			日帰り日程を企画し、通訳の為の観光地情報を調べ学習する。	講義			
3	日帰りプランニング①大阪中沿線			グループに分かれて通訳ロールプレイや下見を行い、最終日程表を作成	講義			
4	日帰りプランニング①大阪中沿線			ガイドツアーの実施	実技			
5	日帰りプランニング①大阪中沿線			ガイドツアーの振り返り、通訳課題を共有	講義			
6	日帰りプランニング②阪急沿線			日帰り日程を企画し、通訳の為の観光地情報を調べ学習する。	講義			
7	日帰りプランニング②阪急沿線			ガイドツアーの実施	実技			
8	日帰りプランニング②阪急沿線			ガイドツアーの振り返り、通訳課題を共有	講義			
9	日帰りプランニング③京阪沿線			日帰り日程を企画し、通訳の為の観光地情報を調べ学習する。	講義			
10	日帰りプランニング③京阪沿線			ガイドツアーの実施	実技			
11	日帰りプランニング③京阪沿線			ガイドツアーの振り返り、通訳課題を共有	講義			
12	日帰りプランニング④環状線近郊			日帰り日程を企画し、通訳の為の観光地情報を調べ学習する。	講義			
13	日帰りプランニング④環状線近郊			ガイドツアーの実施	実技			
14	日帰りプランニング④環状線近郊			ガイドツアーの振り返り、通訳課題を共有	講義			
15	これまで学習した内容の復習			これまで学習した内容の復習				
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			韓国語（翻訳）			講師名			
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> ・韓流ドラマや韓流映画などを用い、様々なジャンルの文章や表現方法を的確に理解するスキルを習得する ・実践的なコミュニケーション能力を養う 					通訳訓練で使用するディクテーション（聞き取って書く）やサイトトランスレーション（語順通り訳す）などを取り入れた講義形式で行う				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	シラバス説明、オリエンテーション				授業の目的、趣旨を理解する			講義	
2	多様な表現方法について		課題	5	日本語と韓国語の表現方法の違いや共通点を理解する			講義	
3	翻訳基礎①（ディクテーション）		課題	5	聞き取った韓国語を文字に起こす			講義	
4	翻訳演習①（ディクテーション）		実技	10	韓国ドラマを用い、ディクテーションの実践を行う			実技	
5	翻訳基礎②（シャドーイング）		課題	5	ネイティブスピーカーの発音を聞き取り、後を追いかけるように発音できるようになる			講義	
6	翻訳演習②（シャドーイング）		実技	10	韓国メディアを用い、様々なシャドーイングの実践を行う			実技	
7	翻訳基礎③（サイトトランスレーション）		課題	5	意味のまとまりごとに韓国語→日本語に訳す			講義	
8	翻訳演習③（サイトトランスレーション）		実技	10	韓国メディアを用い、様々なサイトトランスレーションの実践を行う			実技	
9	作品制作①（題材決め）		課題	10	様々な韓国メディアの中から翻訳する作品を決め、作品制作の計画を立てる			講義	
10	作品制作②（翻訳）				作品の翻訳			講義	
11	作品制作③（翻訳）				作品の翻訳			講義	
12	作品制作④（資料作成）		課題	10	発表に向けた資料作成			講義	
13	作品制作⑤（リハーサル）		実技	10	発表に向けたリハーサル			講義	
14	作品発表会		実技	20	グループ発表			実技	
15	振り返り		課題		振り返り			講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			韓国語ディスカッション			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
韓国語でテーマに沿ったディスカッションができるようになる。 前半：グループ対抗のディスカッションで、チームワークや様々なやり方を学ぶ 後半：個人対抗のディスカッションで、発言力・発信力を身に着ける					講義と実技演習を掛け合わせてとり行う 前半：グループ対抗のディスカッション 後半：個人対抗のディスカッション			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				テーマ発表・グループ分け	講義		
2	グループワーク①リサーチ・分析				グループに分かれて、テーマについてのリサーチ・分析をとり行う	講義		
3	グループワーク②多角的な分析		課題	10	予想される反対意見をイメージ・対抗策を講じる	講義		
4	グループワーク③ディスカッション準備				発表に向けて準備をする	講義		
5	グループワーク④ディスカッション準備				発表に向けて準備をする	講義		
6	ディスカッション①		課題	15	グループ対抗のディスカッションをとり行う	実技		
7	ディスカッション②		実技	15	グループ対抗のディスカッションをとり行う	実技		
8	個人ワーク①リサーチ・分析				個人でテーマについてのリサーチ・分析をとり行う	講義		
9	個人ワーク②多角的な分析		課題	10	予想される反対意見をイメージ・対抗策を講じる	講義		
10	個人ワーク③ディスカッション準備				発表に向けて準備をする	講義		
11	個人ワーク④ディスカッション準備		課題	10	発表に向けて準備をする	講義		
12	個人ワーク⑤ディスカッション準備				発表に向けて準備をする	講義		
13	ディスカッション③		課題	15	クラス全体でディスカッションをとり行う	実技		
14	ディスカッション④		実技	15	クラス全体でディスカッションをとり行う	実技		
15	総復習 フィードバック		課題	10	総復習	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス				
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修		
科目名			韓国伝統芸術			講師名				
担当講師の実務経歴			○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
韓国伝統歌劇「唱劇」制作・発表 音、舞、歌、色鮮やかな衣装に触れることで文化を体得でき、真の国際人としての教養を身につける					シアタートレーニングや演劇作品づくりを中心に進める。 期末には発表会にて全員出演の演劇作品を上演する					
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式				
			形式	点数						
1	オリエンテーション				授業の内容を理解	講義				
2	シアタートレーニング①				発表会の内容、台本を理解する 役割を決め自身が何をすべきか理解する	講義				
3	シアタートレーニング②		課題	15	チームに分かれ、何をすべきか考える	講義				
4	発表会に向けての練習①		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
5	発表会に向けての練習②、衣装制作		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
6	発表会に向けての練習③、衣装制作		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
7	発表会に向けての練習④、衣装制作		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
8	発表会に向けての練習⑤、衣装制作		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
9	発表会に向けての練習⑥、衣装制作		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
10	発表会に向けての練習⑦、衣装制作		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
11	発表会に向けての練習⑧、衣装制作		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
12	発表会に向けての練習⑨、衣装制作		実技	5	自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	実技				
13	リハーサル①		実技	20	セリフと動きをすべて覚え、これまでの成果を発表する	実技				
14	リハーサル②		実技	20	セリフと動きをすべて覚え、これまでの成果を発表する	実技				
15	発表					実技				
追試詳細					達成度評価		使用教材			
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下					

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			接客英会話			講師名			
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>・ホテルの飲料/宿泊両部門において、基本的なサービスに必要なコミュニケーション力を身に付け、外国人のお客様に抵抗なく対応できること</p>					<p>・最も大切な“Greeting『あいさつ』”から始め、その後は前半レストランでオーダーを取るまでの流れ/後半はベルマンとしてのアテンドを順に演習に合わせて学んでいく。最終的に苦情対応までを網羅する。 ・毎回の授業にて「インバウンド接客外国語検定」対策を実施</p>				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式		
			形式	点数					
1	オリエンテーション				オリエンテーション		講義		
2	接客英会話の基本表現		課題	10	4つの基本表現を使い分け、基本会話		講義		
3	お席へのご案内				基本表現の確認テスト お出迎えからお席までのご案内		講義		
4	朝食サービス (Buffet Style)		課題	10	朝食サービスの理解、ペアワーク		講義		
5	Buffet Style 実技テスト		実技	10	お出迎えからお席へのご案内をスムーズに行う		講義		
6	朝食サービス				朝食サービスの理解		実技		
7	朝食サービス (American Breakfast) ・ランチの説明		課題	10	メニュー説明においてスムーズな言い回しができる		実技		
8	American Breakfast 実技テスト		実技	10	メニュー説明においてスムーズな言い回しができる		講義		
9	ベルマン業務①				お出迎え～フロント～お部屋		講義		
10	ベルマン業務②		課題	10	実際に動きを加えてのご案内を行う		講義		
11	ベルマン実技テスト		実技	10	お出迎え～フロント～お部屋へのご案内		講義		
12	苦情対応・謝罪①				オーダー間違いや謝罪対応を身に付ける		講義		
13	苦情対応・謝罪②				お客様をお待たせする時の表現を学ぶ		実技		
14	苦情対応・謝罪 実技テスト		実技	15	苦情対応・謝罪の実践練習		実技		
15	総復習 フィードバック		課題	15	総復習		講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					<p style="text-align: center;">A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>		配布資料		

授業計画書

学部	昼	学科 科	韓国語科	年次	2	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			卒業制作			講師名		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
①『感謝・人のためにプロジェクト』 自己の成長には周囲の方の支えが必要不可欠だということを知り、改めて感じ、感謝の意を表すことの重要性を知る。また、業界人としてのホスピタリティマインドを養う。 ②『語学で世界の架け橋になる』 つながり・コミュニケーション能力・語学力を活か					①「感謝」→「誰かのために」という行動を起こすことで人間力を高めることを目的とする。 ②自らの経験を活かし、韓国と日本を結び社会貢献行動を実践する。			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション			授業のねらいを把握	講義			
2	「感謝」・「人のために」プロジェクト①			お世話になった方への「感謝」を伝えるためのブレインストーミング	講義			
3	「感謝」・「人のために」プロジェクト②	課題	10	アイデアを絞る・計画する	講義			
4	「感謝」・「人のために」プロジェクト③			実行にうつすための方法を検討する	講義			
5	「感謝」・「人のために」プロジェクト④リハーサル	課題	10	実行に向けたリハーサルをとり行う	講義			
6	「感謝」・「人のために」発表	実技	15	お世話になった方への「感謝」を伝える	実技			
7	『語学で世界の架け橋になる』① 自分たちの能力を見つめる			過去の経験を振り返り、自分たちの能力を見える化する	講義			
8	『語学で世界の架け橋になる』② 社会貢献とは①	課題	10	社会貢献について学び、理解を深める	講義			
9	『語学で世界の架け橋になる』③ 社会貢献とは②			社会貢献について学び、理解を深め、実践するアイデアを練る	講義			
10	『語学で世界の架け橋になる』④ 能力+社会貢献=①	課題	10	能力・社会貢献を掛け合わせ、自分たちがやりたいことをブレインストーミングする	講義			
11	『語学で世界の架け橋になる』⑤ 能力+社会貢献=②			能力・社会貢献を掛け合わせ、自分たちがやりたいことをブレインストーミングリサーチ	講義			
12	『語学で世界の架け橋になる』⑥ 能力+社会貢献=③	課題	10	発表内容を取りまとめる	講義			
13	『語学で世界の架け橋になる』⑦ リハーサル			発表に向けてリハーサルをとり行う	講義			
14	『語学で世界の架け橋になる』発表	実技	15		実技			
15	総復習 フィードバック	課題	15	総復習	講義			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	配布資料		